

## 2021年度 匠の学舎の活動



一般社団法人匠の学舎

2022年3月8日



## 活動の目的

- ①目的：建設業に携わる「職人」の育成及び定着化  
(若年入職者の確保・育成が喫緊の課題)
- ②設立：2016年1月21日(一社)匠の学舎設立
- ③対象者：中学校を卒業した生徒や高校を中退した  
16～17歳までの生徒
- ④地元建設事業者連携

建設業の主要な16業種22社の賛同を得て、  
建設現場で実際の作業に従事して技能を習得。  
職場体験と自ら選んだ職種に就くことで、離職を防止。



# 「職人」育成方法

- ① 3年間で、建設現場での**インターンシップ**により技能を習得  
1年次は主要16業種を各2週間経験（4月～12月）  
年明けからは、希望する2～3業種に絞って訓練  
2,3年次からは、自ら選択した1業種に特化して訓練
- ② 学校では、設計士やプロの職人（大工等）による座学及び  
実習で建設関係の知識を習得、また、通信制高等学校と連  
携して**高等学校卒業の資格取得をサポート**
- ③ インターンシップ先からの寄付金を原資として、奨学金を支給  
（授業料相当：返還を求める場合あり）



## 生徒状況

(人)	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入学生数	4	8	6	7	11	15
退学1年	2	3	4	2	2	2
退学2年	2	0	0	2	0	
退学3年	0	0	0	0		
在校生数				3	9	13
卒業生数	0	5	2			
建設関係 就職者数	(2)	(2)	2			
進学者数	0	1	0	0		



# 活動の成果・効果

## ① インターンシップ

- ・ 3年間の訓練で、卒業時から戦力になる。
- ・ 訓練先の雰囲気や訓練してくれた先輩等との人間関係を構築できた上での入職となり、離職防止になる。

## ② 高等学校卒業資格取得のサポート、認定職業訓練校

- ・ 保護者、中学校の先生の進路選択先として着目される。

## ③ 授業料相当の奨学金

- ・ 経済的状況にかかわらず訓練でき、入学者を確保できる。



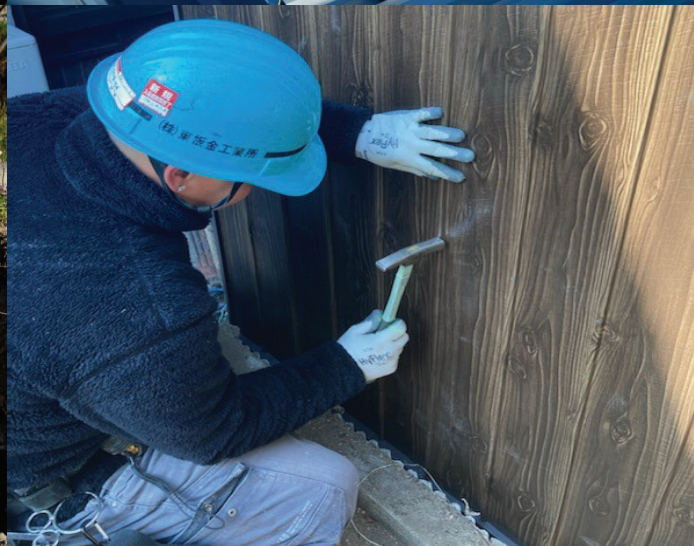
たくみ まなびや  
**匠の学舎**  
アカデミー  
技心館



型枠職人を目指した K君



板金職人を目指した H君



# 学習の内容

	月	火	水	木	金	土
1年生	授業	授業	実習	実習	実習	
2年生	実習	実習	実習	実習	授業	校内実習
3年生	実習	実習	授業	実習	実習	校内実習

## 授業内容等

- 1年生：(月)安全衛生、建築構造、製図、器工具使用法等  
(火)英語、国語、社会等通信制高校のサポート授業
- 2年生：(金)建築法規、建築設備等、サポート授業
- 3年生：(水)建築計画、建築生産等、サポート授業  
土曜日の校内実習は「建築施工科」の授業

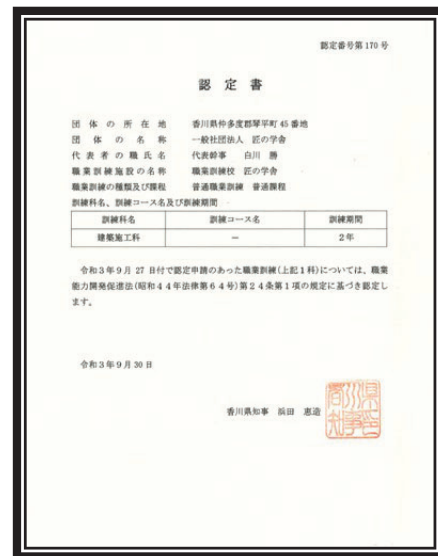
# 本年度の活動

- ① 1年次 16業種の訓練の入れ替え（短期課程職業訓練）  
新規開講：配管施工科、防水工科  
中止：内装クロス科
- ② 実習先の増加 電気1、木製建具1、建築大工1、土木1
- ③ 香川県建設業協会委託事業  
「木造建築（基礎から完工まで）」教材用DVD作成
- ④ 女子寮の整備（本年度岡山県から女子生徒1名が入学）  
※戸田みらい基金 助成事業  
（第10回若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成）

# 「建築施工科」の認可

普通課程職業訓練「建築施工科」の認可

- ①「大工」専攻者の訓練水準の引き上げ  
現場実習のみ → 体系的に訓練
- ②二級建築士希望者に対応  
訓練科の必須カリキュラムで対応可
- ③訓練生募集活動に寄与  
香川県の認定訓練校  
⇒ 保護者、中学校の先生の安心感



たくみ まなびや  
**匠の学園**  
アカデミー  
技心館

## 今後の課題

- ①入学生の安定的確保と定着化
- ②実習先企業の増加
  - ・生徒の実習先の確保
  - ・岡山県出身者の増加に伴い、岡山地区での実習先の確保（2021年度：5名入学）
- ③指導員の養成と普通課程職業訓練科の増加  
開講検討：木工科、建築板金科



たくみ まなびや  
**匠の学園**  
アカデミー  
技心館

ご清聴ありがとうございました



たくみ まなびや  
**匠の学舎**  
アカデミー  
技心館